

# 鍛える

⑧

何かとあわただしい現代社会の中で、座禅は、自分をみつめることができる場でもある。姿勢を正し、息を整え、心を落ち着けることが大切とされている。(第15回子ども禅のつどい 永源寺にて)



# 最も大変は

## ねたきり老人の

お年寄の日常生活の実態を明らかにし、これからの福祉政策に役立てるため、市は民生委員の協力を得て、毎年「在宅老人実態調査」を行っています。

ここでは、昨年行ったねたきり老人の実態調査結果についてお知らせします。

### 調査方法

調査は、昭和56年7月1日現在で、294人全員のねたきり老人を対象に行いました。調査方法は民生委員による訪問調査です。

### 必要な介護法の習得

歩行については、全く歩けないが半数以上を占め54.1%、付添が肩をかせば歩ける27.6%、手で支えれば自分で歩ける15.6%、杖等を使えば自分で歩ける2.7%となっています。

このようなことから、日常生活の状態により、何らかの介助をすれば歩行できる老人が45.9%になります。したがって、今後、介護者に介護方法及び、機能回復訓練等の知識を習得させることが必要と思われます。

### 入浴車派遣事業も

食事については、手助けすれば自分でできる34.7%、付添・介助を必要とする30.9%、自分では全くできない21.1%、普通に自分でできる13.3%。このようなことから、食事については、86.7%の老人が多少なりの介護を必要としています。時

### 介護は嫁が37.6%

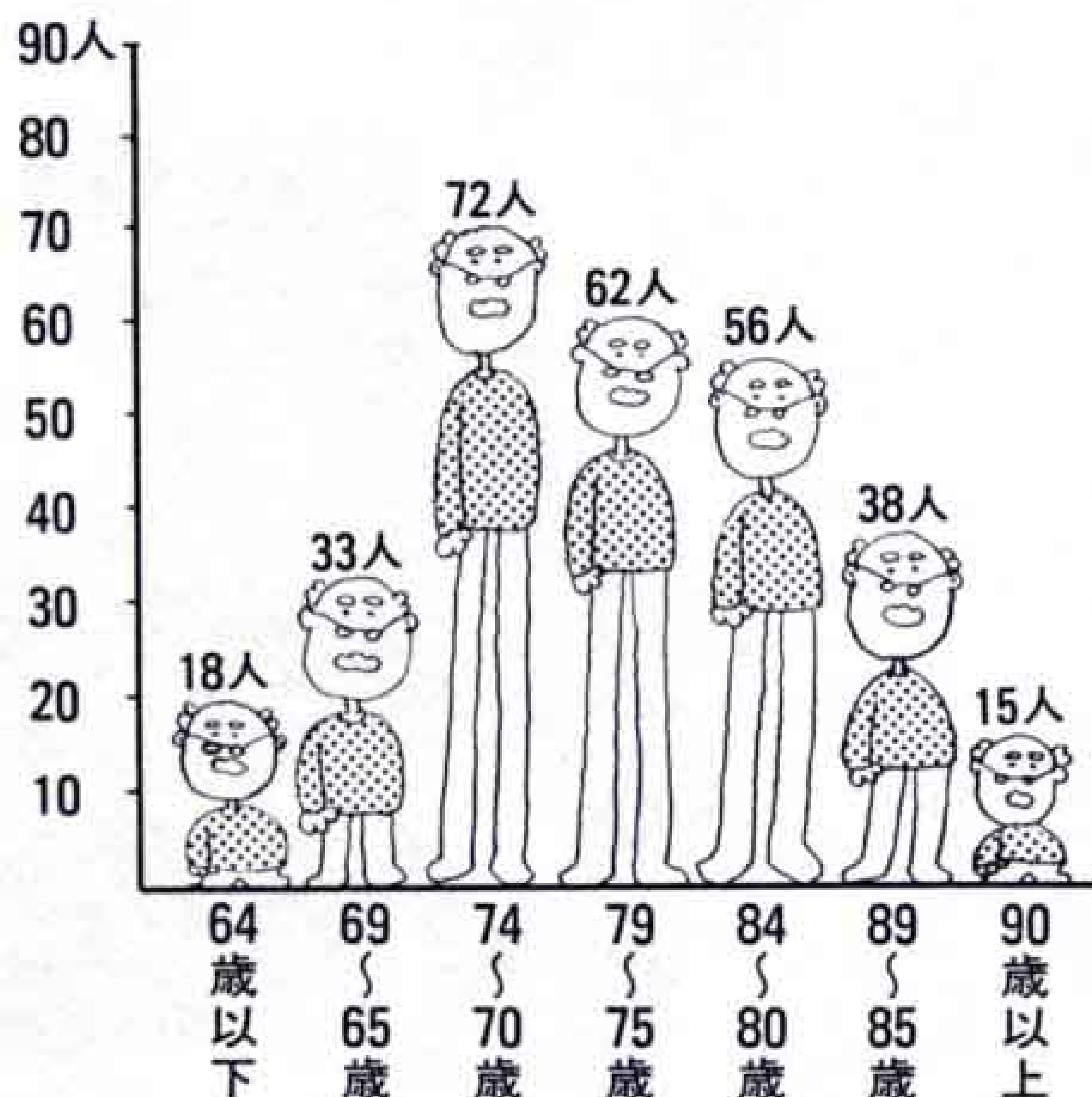
ねたきり老人294人のうち、性別では、男性136人、女性158人で女性が男性を22人上回っています。

これを年齢別にみると、左の図のとおり。70歳から74歳までが一番多く72人(24.5%)、次いで、75歳から79歳までの62人(21.1%)、80歳から84歳までの56人(19.1%)の順となっています。

ねたきり老人の介護者については、嫁が一番多く37.6%。次に、配偶者32.2%、娘12.9%の順です。

ヘルパーによる健康診査

年齢別ねたきり老人数



### 敬老の日おめでとう



昨年の敬老会行事

## 長寿をお祝いします

今年の敬老会該当者は9,026人

9月15日の敬老の日を中心に、今年も各地区で敬老会行事が行われます。今年の敬老会の対象となるのは、明治44年9月15日以前に生まれた、71歳以上のお年寄です。市内には、71歳以上のお年寄が、男3,690人、女5,336人、合計9,026人います。

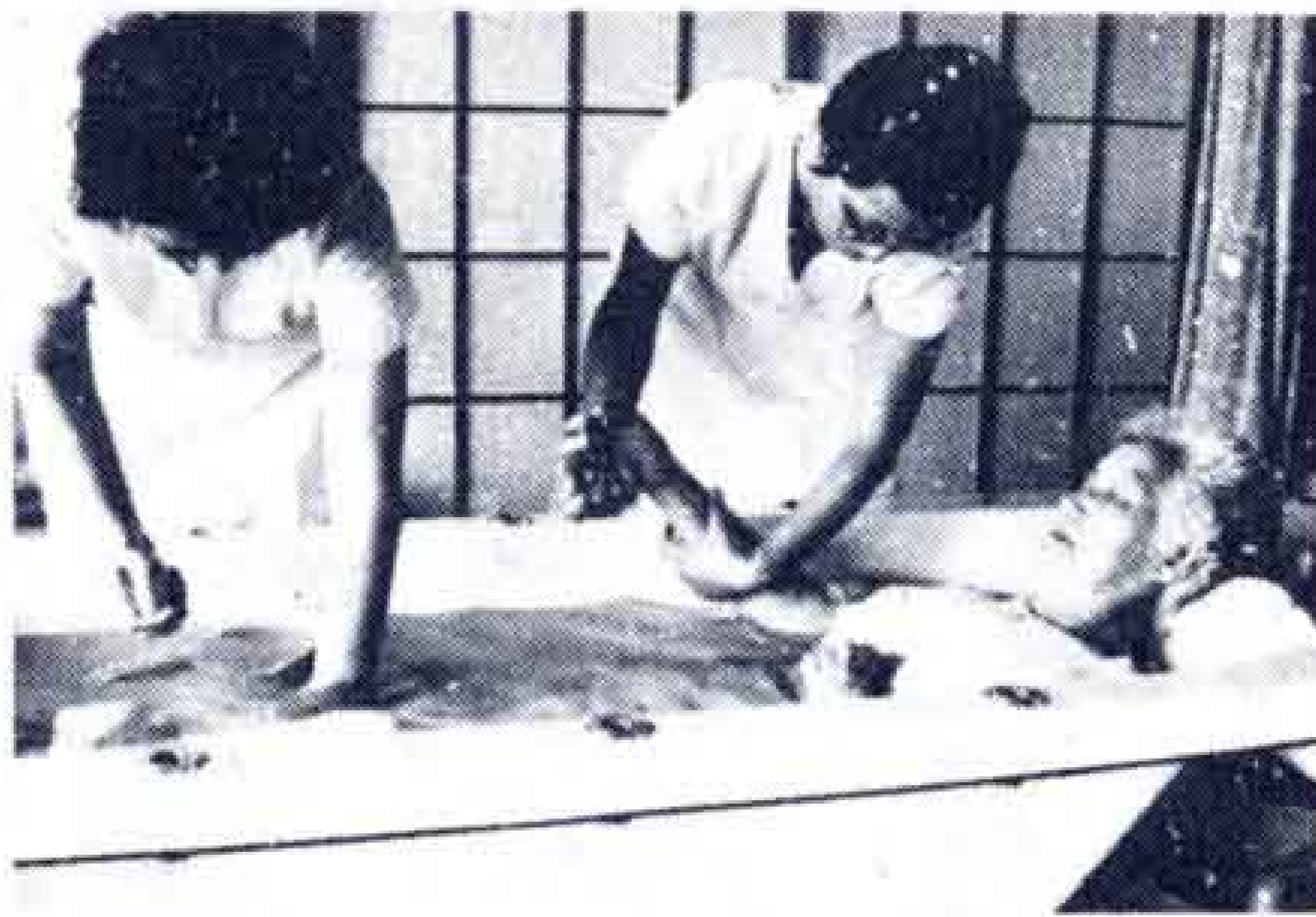
敬老会では、80歳以上に祝金、88

歳の米寿を迎えられた人に肖像画と祝金、90歳以上にポアシート、金婚式を迎えられるご夫婦に、きゅうすが贈られます。

金婚式(50年)を迎えられるご夫婦は、西本通り 下條 憲さん(75歳) ちよ子さん(71歳)他91組です。

# 入浴

## 実態調査から

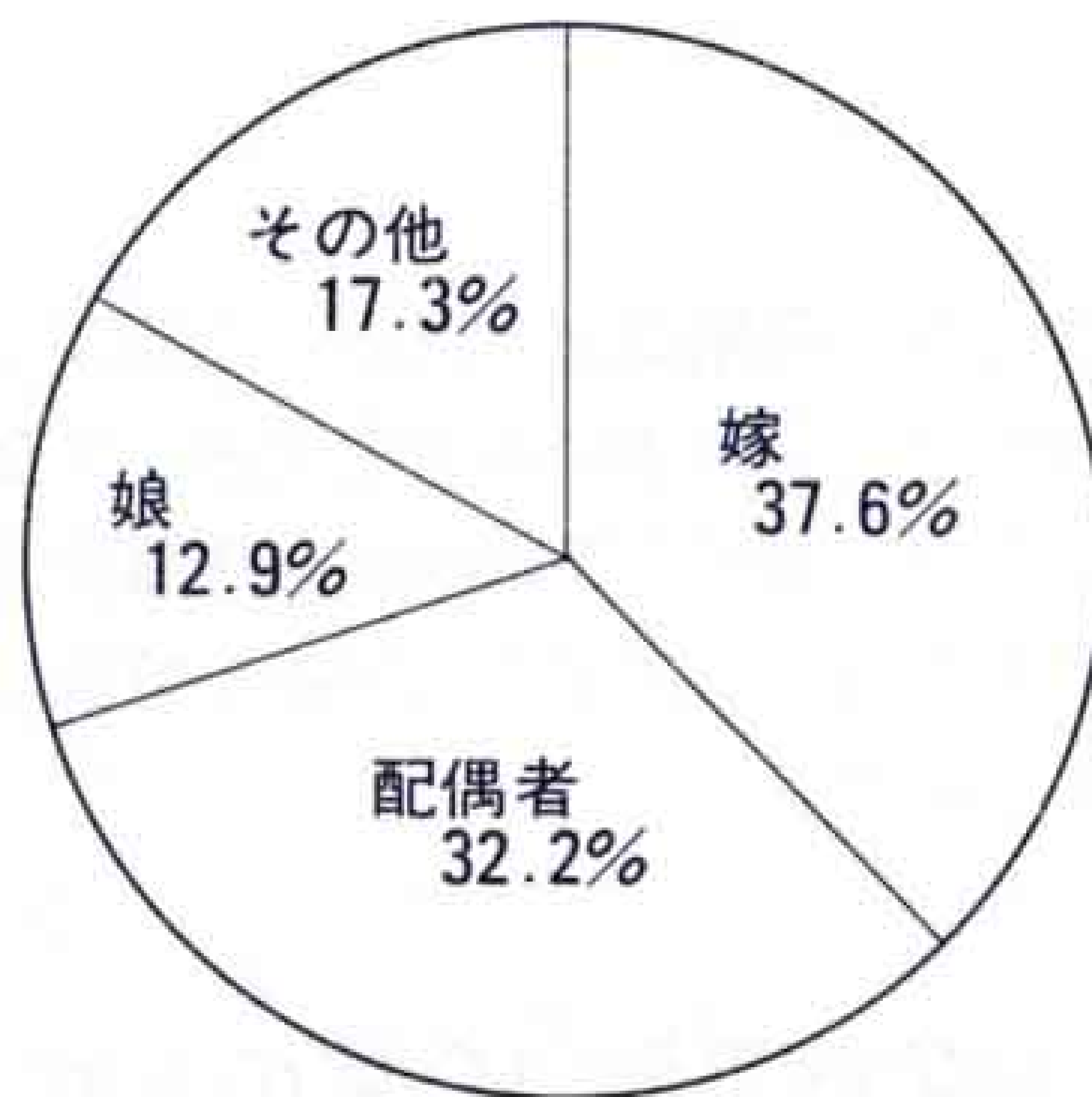


巡回車による入浴サービス

間がかかっても、極力老人自ら食事をとらせるようにしむけていく工夫が必要です。

入浴については、入浴できずきれいに拭く(47.2%)と付添・介助を必要とする(45.6%)で、92.8%を占めています。このようなことから、市としては、在宅入浴サービス事業として、巡回入浴車派遣事業や簡易移動浴槽貸与・給付事業を行っています。

介護者の状況



## 多い脳卒中と高血圧

ねたきりになった原因別状況では右表のとおり、脳卒中と高血圧で、37.7%を占めています。

ねたきりになってからの期間では、1年から2年まで29.6%、1年未満22.8%ですが、5年以上の老人は、29.9%もいます。

ねたきり老人を介護しているみなさんに、大変な仕事の順位をたずねたところ、入浴が最も多く34.8%。次に、オムツ交換の18.6%、着替えの17.0%でした。

このようなことから、今後、在宅入浴サービス事業の充実が、より必要と思われます。

ねたきりになった原因別状況

区分	人数	比率
脳卒中	70人	19.7%
脳軟化症	21	5.9
老衰	39	11.0
高血圧症	64	18.0
リウマチ	15	4.2
心臓疾患	21	5.9
悪性新生物	40	11.2
神経痛	10	2.8
中風	9	2.5
その他	67	18.8
計	356	100.0

## 思いやりの心を



民生委員  
百瀬昌一さん(70歳)  
今泉緑ヶ丘

世の中の機構や人間関係が複雑になるにしたがい、社会にとけ込めない老人が増えているのが現実。人間は、誰もが年をとっていき、やがては老人となるのだから、すべての人が老人に対して、思いやりを持たなければいけないと思う。また、老人も社会のお荷物とならないように心がけなければいけない。人の幸せというものは、あたたかい思いやりのある家庭で、家族といっしょに暮らすことにあるのでは…。

## 入浴を楽しみに



技術家庭奉仕員  
大島きみ子さん(30歳)  
傘木

土・日を除く月曜日から金曜日までの毎日、入浴車でねたきり老人の巡回訪問をしています。私たちが来るのをお年寄りは、とつても楽しみにしているんです。雨の日などは準備も大変ですが、お年寄の顔を見ると苦勞も忘れず。ただ、入浴の前に健康診査をやるんですが、血圧が高い場合は入浴できないんです。そんなときは、お年寄が涙を流して残念がります。この仕事は、とてもやりがいのある仕事です。

## 市内最高齢者 平垣の佐野さん

長生きの秘訣は野菜です

今年の市内最高齢者は、平垣268の1に住む佐野はるさん98歳。

佐野さんは、明治17年9月2日生まれ。現在、風邪気味でちょっと体調をくずしているそうですが、顔の色つやもよく、普段は家族といっしょに茶の間でテレビを見るそうです。

長生きの秘けつは、と聞くと「三

度の食事と腹八分目。それに野菜を中心とした食事になっています。」と元気よく話していました。

また、市内には現在306人の寝たきりのお年寄がいます。ねたきりのお年寄には、地区の民生委員から、市長の色紙を添えた慰問品が贈られます。



最高齢者の佐野さん



◁在宅訪問教育の合同学習会



今井本町  
野辺誠一さん

### 本当の幸せって

今井677-1-5に住む野辺誠一さん(58歳)の二男、美行さん(25歳)も重度心身障害者の1人です。

美行さんは、自宅で両親と家族に面倒をみてもらっている在宅障害者。

ふだんはお母さんがつきっきりで食事や排便など、身のまわりのことをいっさいみていますが、お母さんが病気になったときなどは、誠一さんが仕事を休んで面倒をみています。また、どうしても夫婦で出席しなければならない冠婚葬祭の時などは、姉の修代さんが学校を休んで面倒をみたこともあったそうです。

野辺さん宅では、10数年前に一度美行さんを施設に入所させましたが、やはり家庭で面倒をみるのが、子どもにとって一番幸せなのではないか——ということで、すぐに連れ帰ったそうです。

重度の心身障害者をもつ親にとって、子どもから目を離すことはいっときも許されないのです——とその苦労を野辺さんは話します。野辺さん一家は現在まで、家族で一度も旅行などへ出かけたことがないとのことでした。

病気になった。冠婚葬祭がある—このような時、心身障害児(者)のいる家庭では、大変困ります。市が、今年から始めた心身障害児者短期保護事業は、このような悩みを解決しようとするものです。

### 社会的に弱い立場の人が

心身障害児(者)を持つ家庭にとってその苦労は大変なもの。市が昭和54年4月に行った、心身障害児(者)の調査によると、市内には、なんらかのかたちで心身に障害をもつ人が、671人います。

このうち、家庭にいる在宅障害児(者)は約62人にあたる416人、福祉施設に入っている障害児(者)は38人の255人でした。

障害者の比率を種別でみると、精神薄弱84%、肢体不自由3%、重度の心身障害10%、自閉症・その他3%となっています。

# 介護者にも安心を

## 心身障害児(者)を預る短期保護事業



### 防犯灯を設置してほしい

(お願いします) 私は女子高校生です。冬になると補習とか、部活で遅くなる事が多くなります。

暗い道路をひとり歩いて帰るのは怖いです。

厚原にはまだまだ暗い所がたくさんあります。ぜひ防犯灯を設置してほしいと思います。(厚原一さん)

(おこたえします) 防犯灯の設置については、各町内会(区)長さんと相談をしながら設置をすすめ、これまで全市にあわせて一万二百五十灯設置してあります。しかし、まだ百パーセントの暗がり解消までに至らず、引続き設置しなければなりません。

すでに今年度分も町内会(区)長さんからの設置申請を尊重し、特に通学路等は重点的に配慮しながら発注しました。

日の短くなる九月末日までには設置完了の予定です。

あなたのお宅の厚原地区にも相当数の防犯灯を設置してありますが、今後ますますその周辺には住宅が増えることが予測されますので、引続き十分配慮していきます。(市総務課)

## 施設依存から在宅重視へ

今までの福祉に対する考え方は、施設を造って、そこに障害者を入れるという、いわゆる施設依存型が中心でした。特に、富士市の場合、福祉施設がととのっているため、このような傾向が強いといえます。

障害者にとって、施設に入ることが本当の幸せにつながるのかというと、必ずしもそうばかりとはいえません。ある障害者福祉施設の職員は「私たちが、施設でどんなによく面

倒をみても、親には絶対になわなない。」また、「施設に入ってしまうと、家族や地域の人たちと接触が少なくなり、孤立しがちです。」と話します。

これからの福祉は、障害者が自分の家で安心して生活できるような福祉、いわゆる在宅福祉を中心にすすめるべきだという声が高まりつつあり行政としてもその方向にすすんでいます。

市が独自で始めたこの心身障害児(者)短期保護事業も、在宅福祉行政の一つといえます。

# 在宅福祉へのワンステップ

## 大きな支えとなる短期保護制度

では、この心身障害児(者)短期保護事業について、その概要をお知らせします。この事業は、心身障害児(者)を介護している人が、病気、冠婚葬祭などの理由により、一時的に障害者の介護ができなくなったとき、施設で心身障害児(者)を預るといものです。預る施設は、大淵岩倉の社会福祉法人、誠信会。預る期間は7日以内です。

費用は、1日当り4,000円ですが、このうち個人負担は1,200円。残りの2,800円は市が負担します。

申込み先は、市児童課 内線344

この事業について、野辺さんは「障害児をもつ家庭にとって、このような制度ができたということは、大変ありがたく、心のよりどころにもな

っています。急用のときなどは今まで、家族や親戚にたよらざるをえなかった家庭も、このような制度があれば安心です。」と話しています。

最後に野辺さんは、「私たち家族は、重度の障害を持つ息子にとって、一番の幸せは何かということを中心に考えてきました。これからも、この子を中心に生活していきたいと思えます。」と熱いまなざしで話していました。



あの街



わたなべけいこ  
渡辺慶子さん(34歳)  
(橋下)

### プロフィール

愛媛県生れ。横浜市に永く住んでいましたが、1年8ヵ月前に夫の転勤により富士市民となりました。小学校3年と幼稚園児の2人の娘のママさん。

横浜との違い？そうねエ……。やっぱり市民意識の違いを感じます。富士ではプライベートなことに興味を示すことが多く、その割に行政のことには知らん顔みたい。市政にもっと関心を持ってほしいのではないかしら。

横浜では、市民生活を守ることにとても配慮がされています。たとえば、食品や洗剤公害をなくすことや、交通安全、特に歩行者保護に力が入られています。PTAの活動にも違いが見られます。父母がもっと主体的で、先生は聞き役。会でも父母がリードし、先生は聞き役。市民としての活動が活発なんですね。

そういえば、こちらは共働き家庭が多いわね。横浜ではクラスに三〜四人でしたが、こちらは逆ですもの。そのせいかしら、子供の持ち物や服装にはお金がかかっている感じ……。でも、家族でいっしょに過ごすことが少ないようですね。恵まれている地域ですから、富士市なりの文化がもっと育ってほしいですね。



△アツ、来た来た私のトウロウが



△最後まで天覆しませんように

## 地域づくりはまつりから ●

### 岩松地区の伝統行事と新しい行事

「コミュニティづくりはまつりから」  
こんな表現がびつたりの岩松地区。今年も社会教育推進会を中心に、お年寄から子どもまでが、8月始めからお盆にかけて各種の行事を繰りひろげました。

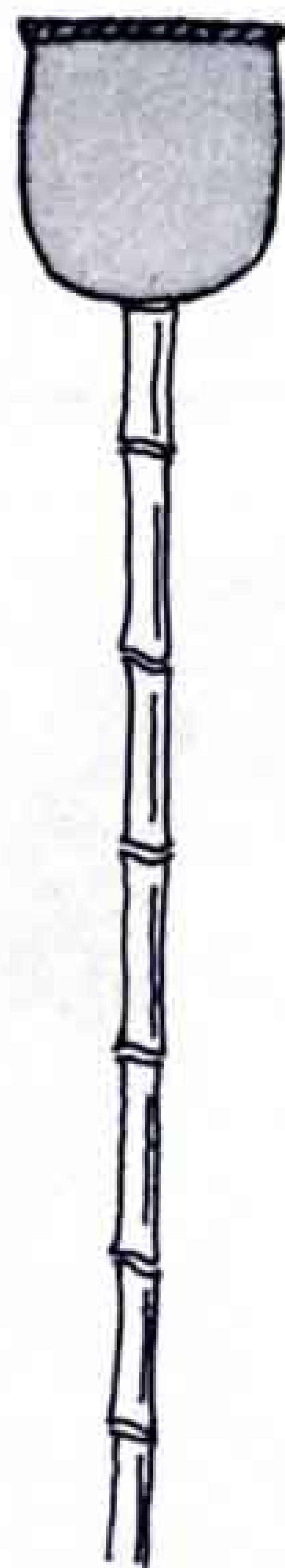
幕あけとなった文化まつりでは、公民館で学んだ成果を発表する展示部門や、婦人会によるバザー、青年学級のお好みコーナーなどに多勢の人たちが集まり大盛況でした。

一方、伝統行事のトウロウ流しでは、子どもたちが願いを込めて作った色とりどりのトウロウ300余りを流し、川面を幻想的な雰囲気につつましました。

また、水神区では投げたいまつも行われ、子どもたちは「一番先に投げ入れるぞ」と一生懸命でした。



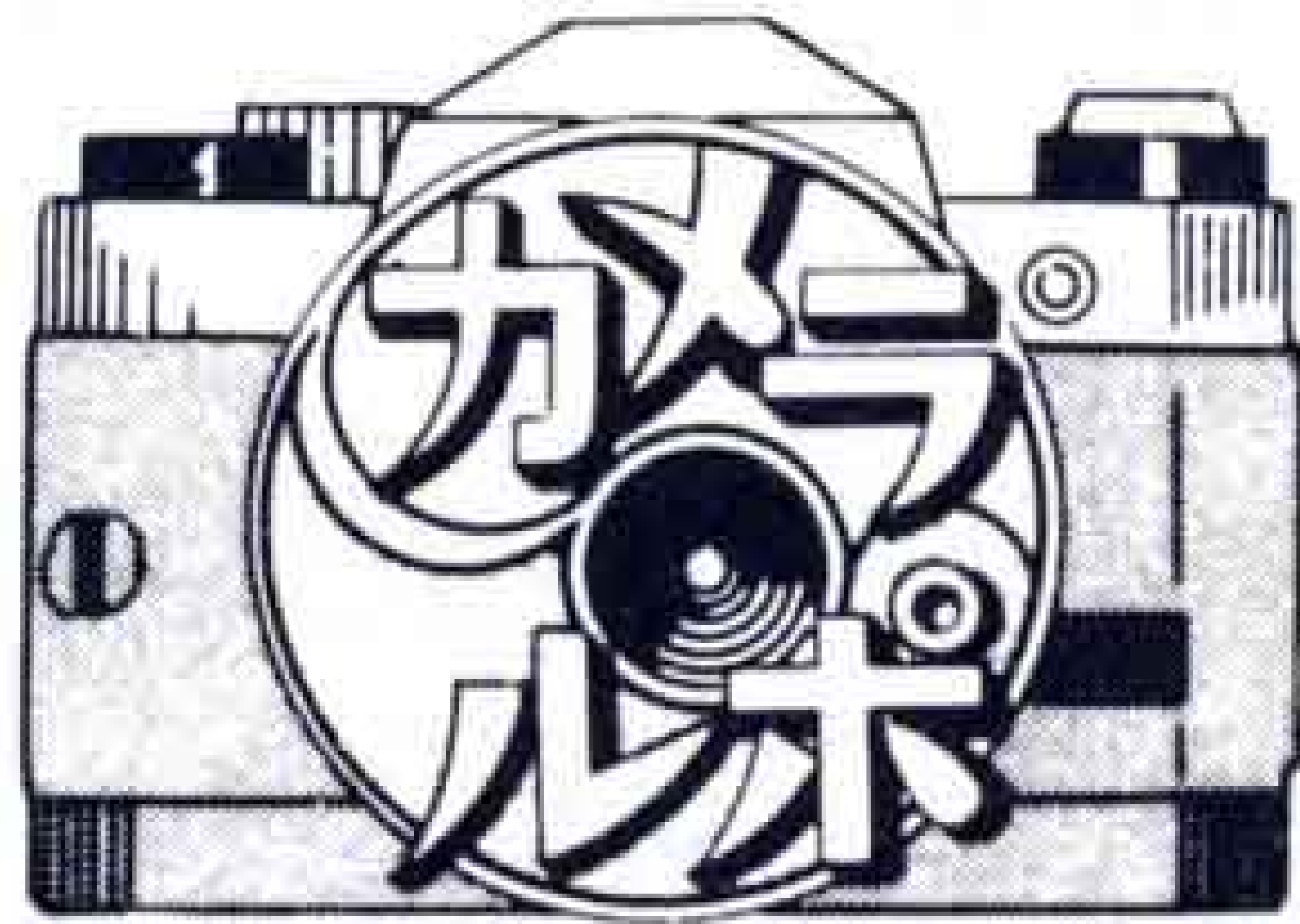
△一番先に投げ入れるぞ



△不用品持ち寄りバザー



△これは値打ちものだな



## 共同制作

### 料理で親子のふれあい

お米について考える「夏休み親子の消費者教室」が、8月24日吉原公民館で親子50人が参加して開かれました。

今では、まな板のない家庭が30%もあり、火を通せば簡単に出来上りという料理が増え、各家庭の味がなくなりつつある現在、おふくろの味を……と開かれたものです。

テーマのお米を使つての料理では、はまぐりごはん、もちごめダンゴ、サラダなど4品に挑戦。

普段包丁を持ったことのない子どもたちは、お田さんのアドバイスを受けながら楽しそうに材料を切っていました。

お米の消費拡大と親子のふれあいをねらいとしたこの教室に、応援としてボン菓子（はでらかし）作りの実演も行われました。

▷私が刻んでお母さんが洗います



▷なかなかおいしいぞ



◁何か質問ありませんかー

## 南極の寒さを初体験 公設市場などを見学

夏休みの一日を有意義に過ごし、社会科の勉強に役立ててほしいと、今年も八月六日、「親子の市政教室」が行われました。

朝九時に渡辺市長に見送られ、出発した参加者は百人。

最初の見学場所公設卸売市場では、マイナス二十五度の冷蔵庫に入り、南極の寒さを体験。夏の暑さも手伝つて、お田さんも子どもも大はしゃぎ。

この他の施設でもメモを片手に、市職員の説明を聞き、熱心に勉強していました。



市役所 ☎51-0123

がさいほうしゆ  
**赤ちゃんを 神経芽細胞腫**  
 (小児がん)から守ろう

神経芽細胞腫とは、小児がんの一種です。腹部にしこりができ、肝臓や骨に転移する、おそろしい病気です。しかし1歳未満でみつけ、治療することによって大部分が治ります。  
 ☆一滴の尿から発見

このがんは、尿の中に特殊な物質を出すという特徴があります。赤ちゃんが6ヶ月すぎたら検査(240円)が受けられます。

※詳しくは、市健康課保健指導係内線316 又は富士保健所☎52-5010へおたずねください。

**「県政概要」予約受付中**

県広報協会は、「県政概要昭和57年版」を12月上旬発行します。

学校の社会科の参考書に、職場や地域づくりの学習資料等にご利用ください。

- ◇内容 昭和56年度県政全般の記録
- ◇申込期限 10月15日(到着まで)
- ◇頒 価 1冊3,900円送料300円
- ◇申込み方法 往復ハガキに住所、氏名、電話番号を記入し〒420 静岡市追手町9-6 県庁本館5階静岡県広報協会へ ☎<0542>54-6747

**トリム指導者講習会**

- ◇と き 9月17日~10月15日  
(毎週金曜日19:00~20:30)
- ◇ところ 市立体育館
- ◇対 象 16歳以上の市内在住、在勤者50人(受講料無料)
- ◇講 師 静岡県トリム指導者
- ◇申込み 9月14日までに、市スポーツ振興課内線457へ(電話でも可)

**西部浄化センターを見学してみませんか**

市下水道課と西部浄化センターは、「全国下水道促進デー」行事として、下水道の理解と関心を深めていただくため西部浄化センター施設の開放と同センター内に下水道相談所を開設します。

- ◇と き 9月10日(金)9:30~16:00

**「救急の日」・「救急医療週間」を制定**

厚生省は、救急医療体制をより一層充実強化し救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深めていただくよう9月9日を「救急の日」とし、この日を含む一週間を「救急医療週間」と決めました。

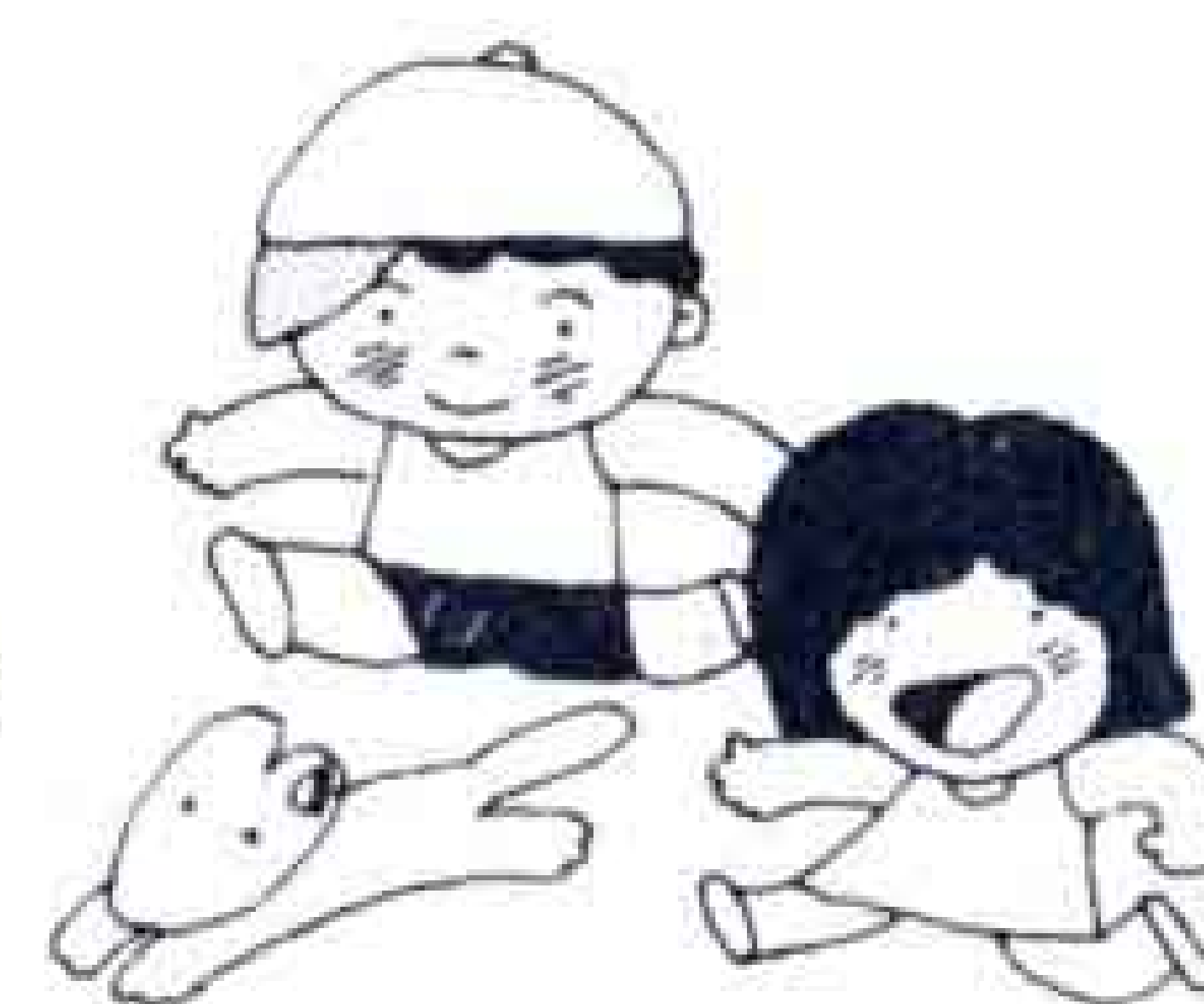
**“あなたと友だち”  
ほのぼのの広場**

ボランティアセンター2周年記念

- と き 9月27日(月)12:00~  
10月2日(土)12:00まで
- ところ 市役所2階市民ギャラリー
- 内 容 ボランティアグループ紹介やパネル展示等

連絡先

ボランティアセンター  
 ほのぼのの広場  
 ☎52-6200



**交通安全標語を募集**

昭和58年使用の「交通安全年間スローガン(標語)」を募集します。

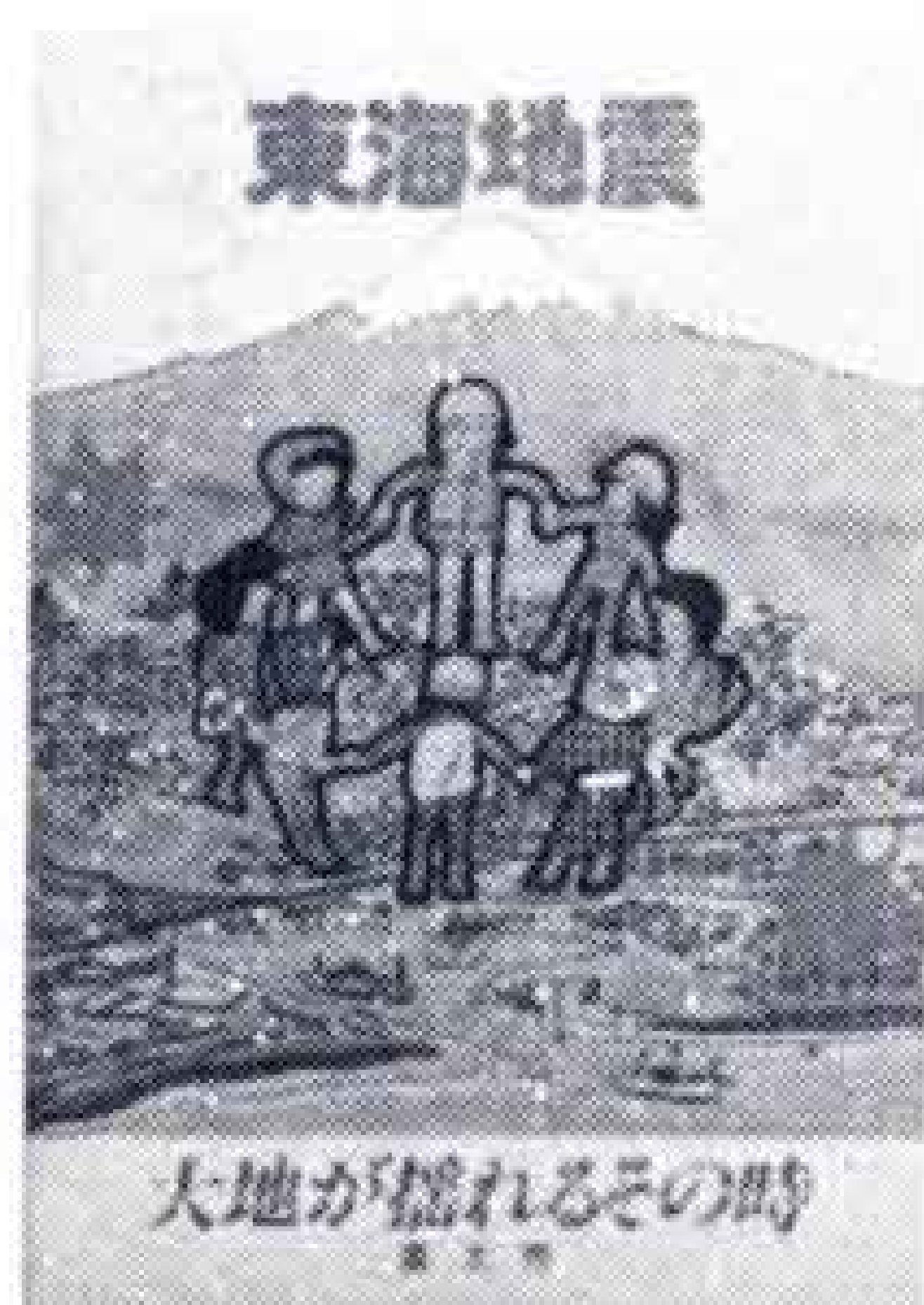
- ◇応募期限 9月30日(当日消印有効)

◇募集部門

- ◎一般 運転者(同乗者を含む)と歩行者・自転車乗用者に対するもの
- ◎子ども 自由

◇応募方法 一般は住所、氏名、年齢、子どもは学校名、学校所在地、学年、氏名とスローガン1点をハガキに記入し〒100-91 東京中央郵便局私書箱38号 毎日新聞社事業部「交通安全年間スローガン」係へ

**東海地震に備え  
パンフレットを全戸配布**



市地震対策室は、予想される東海地震に備え、市民一人ひとりがもう一度地震に対する知識と心構えを再認識していただくよう、「東海地震=大地が揺れるその時=」を無料配布しました。  
 —備えあれば憂いなし—

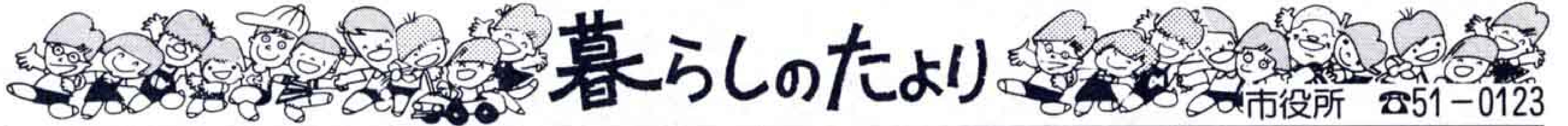
**丸火自然公園  
自然観察ガイドブックを発行**



県自然保護課は、静岡県自然観察ガイドブック3「丸火自然公園」を発行しました。

このガイドブックを手に自然と親しんでみませんか。市環境保全課で希望者に無料配布(部数に制限あり)しています。





市役所 ☎51-0123

## 市民福祉まつりの 協賛団体を募集



賑わう昨年の福祉まつり

国際障害者年を記念して、昨年実施した市民福祉まつりを、今年も「ふれあいをここから」をテーマに開催します。

青空の下で一日、障害のある人も健康な人も一緒に楽しみ、ふれあうことを目的とした、この市民福祉まつりへの協賛団体を募集します。

食べ歩きコーナー〔おでん、焼とり、焼そば、フランクフルトなど〕、バザーコーナー〔不用品、日用雑貨、花、野菜など〕への協力や、ユニークな企画などをお寄せください。

◇とき 10月17日(日) 10:00~15:00

◇ところ 市役所北側駐車場

◇協賛団体募集期限 9月20日(月)

◇問合せ・申込み先

富士市障害者福祉都市推進協議会事務局 (市社会課 内線270)

—市民会館自主文化事業—

## 民謡ふるさとまつり



川崎マサ子



大塚文雄



小杉真貴子

9月22日(水) 開演 18:30

富士文化センター大ホール

入場料 全自由席 1,800円(当日2,000円)  
(各プレイガイドで券発売中)

## いっせい防疫

月日	午 前	午 後
9月29日(水)	東比奈1 東比奈2	—
30日(木)	橋下	四丁河原南
10月1日(金)	新町 林町	浦町
4日(月)	四ッ家	東田 旭町
5日(火)	上町 富士上中 富士下中	富士緑ヶ丘 瀬戸河原
6日(水)	湯沢平1、2	—
7日(木)	滝戸 鷹岡本町1	鷹岡本町2、3
8日(金)	久沢南 厚原南	入山瀬久保 入山瀬東
12日(火)	入山瀬西 入山瀬天王町	天間田代 天間川坂

## 9月の当直医

休日及び平日夜間の当直医は、富士市医師会が、急病患者のために定めたものです。急病のときだけご利用ください。

◇9月5日

外科 榎村医院 63-8881 柚木

〃 渡辺病院 51-3751 錦町1

産婦人科 中島医院 51-4188 永田

◇9月12日

外科 佐野医院 71-6200 天間

〃 米山病院 52-3060 吉原4

産婦人科 池谷医院 61-0873

水戸島本町

◇9月15日

外科 松本医院 71-2570 久沢

〃 芦川病院 52-2480 中央2

産婦人科 池田医院 21-2228 石坂

◇9月19日

外科 中央病院 61-8800 本市場

〃 吉田医院 51-2515 石坂

産婦人科 中央病院 61-8800

本市場

◇9月23日

外科 竹沢医院 63-7373 宮島

〃 快明堂医院 51-0301 中央1

産婦人科 望月医院 34-0445

西比奈

◇9月26日

外科 渡辺医院 61-0655 川成島

〃 米山医院 52-0275 今泉1

産婦人科 遠藤医院 52-1941

吉原3

※内科・小児科は医療センターで  
歯科は歯科医師会館で行います。

◇平日の夜間

内科・小児科・外科は市役所北口

警備員室 ☎51-0123 又は消防署 ☎51-

0105へおたずねください。

# ふるさとのお話

失せ物<sup>もの</sup>がもどってくる

## 松本の観音さん

話してくれた人

鈴木房吉さん

(74歳)

新町



今は鉄筋のお堂となった  
松本の観音さん

### 左にあんだ繩を供えて

あの頃は、そう、わしがまだ子どもの頃のことなんだがな。今のよう  
テレビもないし、夕食が済んでからの楽しみといえば、いろりのはたて  
おじいさんの昔話を聞くことだ  
た。それこそまばたきもせず、息を  
こらして聞き入っていたもんだよ。

松本の観音さんは、33番観音とも  
言われ、いつの頃からか、失せ物を  
した時には、自分で繩をなつてお供  
えすれば、失くなった物が出てくる  
という伝えがあつてナ。そうそう、  
繩をなうには、なぜか逆の左にあん  
だものでないとだめなんだよ。

そんなわけで観音さんのお堂には  
いつも左にあんだ繩が供えられてい  
たもんだ。わしはやったことはない

が、何でも入の話では、ご利益が  
あるということだ。

村内の農家の人だがな、ある時、牛  
に引かせるスキが失くなってしまっ  
た。どこをさがしてもどうしてもな  
い。そこで観音さんをお願い申した  
ところ、次の朝、農機具置場にちゃー  
んとあつたそうナ。

その人は喜んで、観音さんにお礼  
のお酒を供えたということだ。

この欄で昔話を語ってくれ  
るお年寄りを探しています。  
あの人を知っていそうだという  
情報でも可。連絡先は市役所広  
報広聴課 ☎51-0123(内線528)

# 市立博物館 展示物 紹介

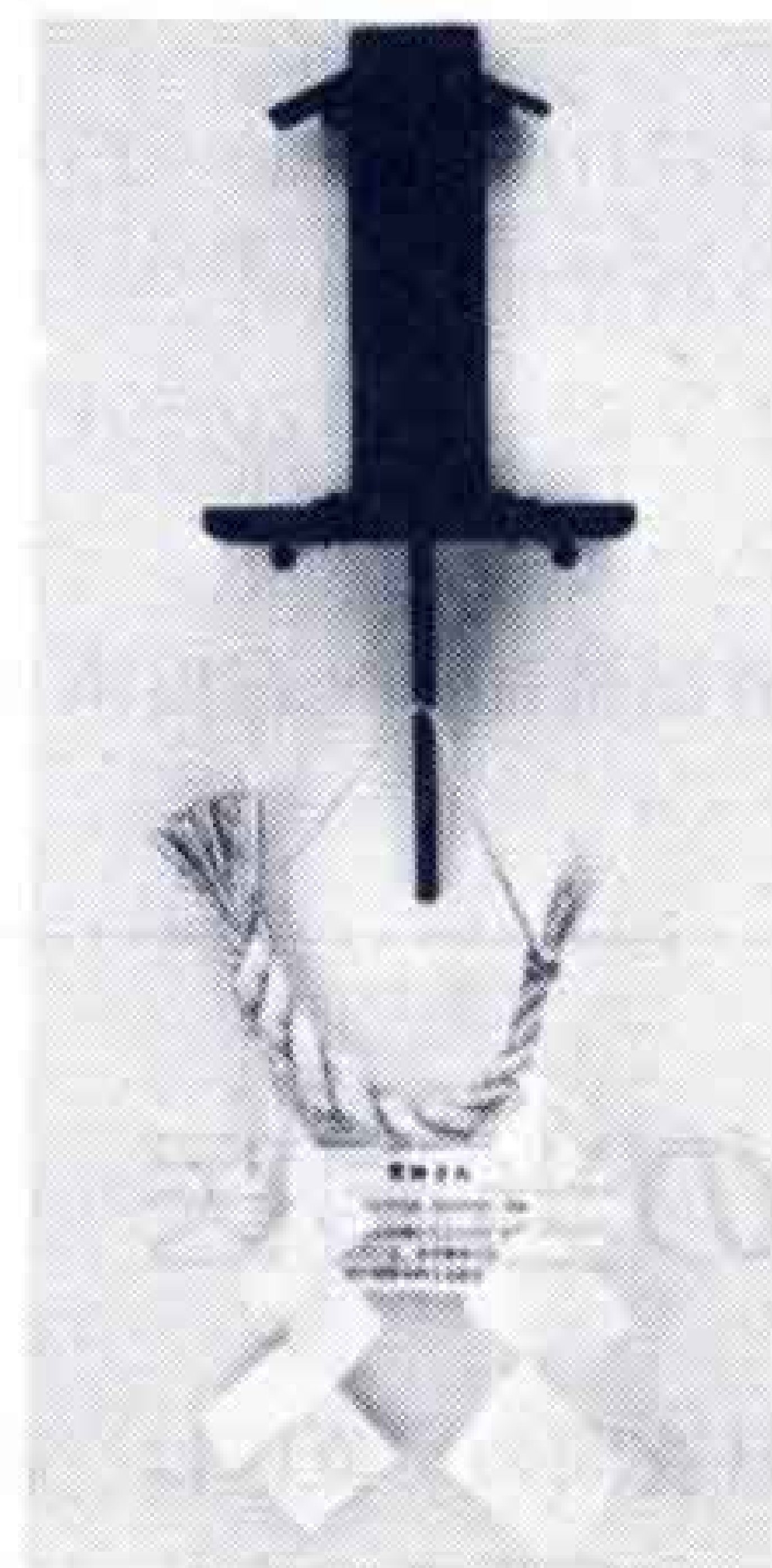
## びんずる 賓頭廬坐像 (複製)

賓頭廬<sup>さんじや しやか</sup>尊者は釈迦の弟子のひとり  
で、人々の病いを治す仏として親し  
まれ、身体の悪い所をなでると効きめ  
があるといわれてきました。実物は  
東滝川の妙善寺<sup>みょうぜんじ</sup>にあります。



おびんずるさん

## こうじん 荒神さん



古くから、  
かまどの神と  
して家々の台  
所にまつられ  
ていました。

また農業の  
神としても信  
仰され、苗や  
稲束を供える  
風習がありま  
したが、今で  
は次第にすた  
れています。

このほど富士市立博物館常設展解  
説書「富士に生きる・紙のまちの歴  
史と文化」を発行しました。(B5  
判カラー95頁)どうぞご利用下さい。  
お求め先は富士市立博物館  
定価 1部600円。

ごみのおはなし

市内の家庭から出たごみの量は、燃せるごみ4万3 312  
ト、燃せないごみ7,447ト、合計5万759トありました  
(昭和56年度)。この処理をするために8億2,200万円の  
経費を要しました。

これは市民1人当り3,900円、1世帯当りでは1万3,986  
円になります。ごみ処理には、こんなにも多額のお金  
がかかっているのです。

しかし、こころ配りでごみの減量と経費の節約は可  
能です。特に生ごみの水切りはぜひ励行して下さい。

—すすめよう ごみの減量・資源化—